

TOPICS
1高等先鋭研究院資源植物科学研究所の馬建鋒教授、
山地直樹准教授が2024年版「世界で最も影響力のある
科学者」に選出！

Clarivate Analytics社発表の2024年版高被引用論文著者リストに、高等先鋭研究院資源植物科学研究所の馬建鋒教授と山地直樹准教授が選出。馬教授は2015年版から10年連続、山地准教授は通算9回目の快挙です。

馬教授、山地准教授は本学の強みである農作物・植物科学分野の確立に寄与し、J-PEAKSにおいても世界を先導する研究拠点の中核研究者として活躍しています。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13752.html

TOPICS
2

第7回金光功労賞・第4回金光奨励賞の授賞式を開催

第7回金光功労賞・第4回金光奨励賞の授賞式を挙行。第7回金光功労賞には、オオムギの遺伝育種科学の研究および教育に長年貢献した佐藤和広教授が受賞。第4回金光奨励賞の受賞団体は「IR/IEのあり方検討コア」及び「研究・イノベーション共創機構」が受賞しました。

J-PEAKS事業においてIR/IEは大きな役目を担っています。特にデータに基づいた大学法人経営においてJ-PEAKS事業において強化しており、今後もIR/IE戦略の重点化などを強化推進していきます。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13705.html

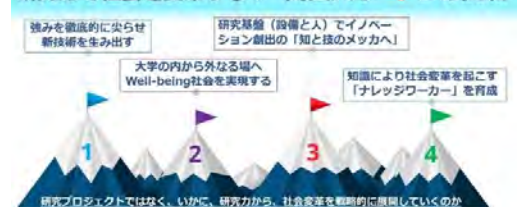
TOPICS
3文部科学省の広報誌「ミラメク」(note版)に岡山大学の
J-PEAKSの取り組みが紹介されました

文部科学省の広報誌「ミラメクー未来の羅針盤 文部科学省ー」(note版)に本学のJ-PEAKSの取り組みが紹介されました。本号は、「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）キックオフシンポジウム」で紹介された採択大学の取組概要を紹介する内容であり、本学以外に神戸大学、広島大学、沖縄科学技術大学院大学の取り組みが掲載されています。

J-PEAKS採択大学では、わが国の研究大学群の形成、そして研究力・イノベーション創出強化による社会変革の実現に向けてまい進しています。ぜひご覧ください！

参考 <https://mext-gov.note.jp/n/n724a9c7a6d8d>

研究力で社会を変革する！ 岡山大学 4つの挑戦



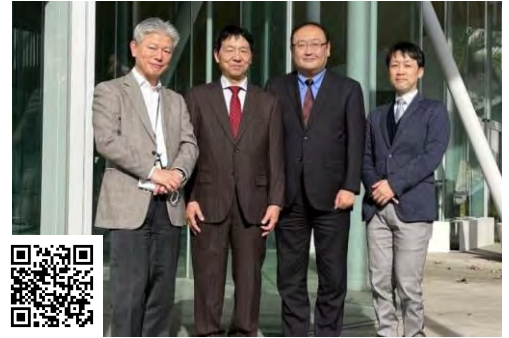
TOPICS
4

岡山大学病院新医療研究開発センターと東北大学臨床研究推進センターが連携会議を開催

岡山大学病院新医療研究開発センターと東北大学臨床研究推進センターが、連携会議を開催。本会議では、両拠点の経験・ノウハウ・人材・システム等を活用し、医療機器・体外診断・医薬品・再生医療シーズの開発支援全般について相互支援を行うこと、また、各拠点の橋渡し研究・臨床研究に従事する者の相互交流やOJT等で実務経験の機会を提供するという目的を共有しました。

J-PEAKS採択大学と国際卓越研究大学の連携により、研究領域をさらに深化させ、世界水準の医療研究を推進していくことを目指します。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13714.html

TOPICS
5

阪口政清教授、木下理恵助教(医)がJST「大学発新産業創出基金事業 ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム(D-Global)」に採択

阪口政清教授と木下理恵助教のグループが提案した「特発性肺線維症治療薬の国際展開に向けた研究開発」がJSTの「D-Global」に採択されました。本プログラムは、大学等発の技術シーズを核にして、社会・経済に大きなインパクトを生み、国際展開を含め大きく事業成長するポテンシャルのあるディープテック・スタートアップの創出を目的とするもので、最長3年程度の期間で総額として原則3億円程度(上限5億円)の研究開発費の支援が受けられます。

有効な治療法がない特発性肺線維症(IPF)や炎症性疾患などの難治性疾患に対して、新たな作用メカニズムに基づいた世界初の画期的な抗体医薬の開発を進めています。今後、有効な医薬品の日本の大学発スタートアップのグローバル展開が期待されます。ぜひご期待ください。

なお本学のD-Globalの採択は、昨年度の中山雅敬教授に続き、2年連続採択の快挙です。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/up_load_files/press_r6/press20241127-1.pdf

TOPICS
6

岡山大学起業部が中国地方の起業部を集めた「起業部カンファレンス」を開催

本学起業部が中国地方の起業部が一堂に会し、学生同士が地域を越えて交流する「起業部カンファレンス」を開催。グループワークやディスカッションを通じて、自分のアイデアや関心を共有し、どのように課題に取り組むかについて討議。さらに、各大学起業部の活動紹介、部長トークセッション、グループ別交流会といったプログラムを共に行うことで、互いの交流を深めました。

J-PEAKS事業では、学生の「力」も大きな地域の中核研究大学の源であると考えて取組を推進しています。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13667.html

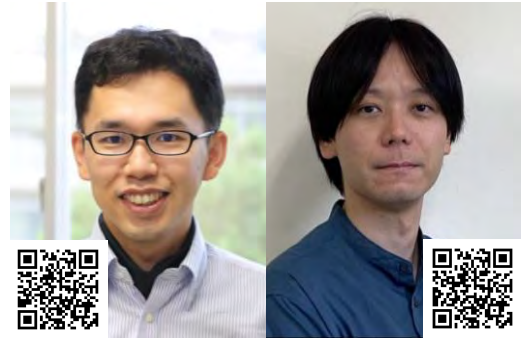
TOPICS
7

茶谷悠平准教授と小島慧一講師が「2024年度戦略的創造研究推進事業(さきがけ)」に採択

本学学術研究院環境生命自然科学学域(理)の茶谷悠平准教授と、学術研究院医歯薬学域(薬)の小島慧一講師が、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「2024年度 戦略的創造研究推進事業(さきがけ)」に採択されました。

茶谷准教授は「非DNA型遺伝情報を自在制御する技術の開発」、小島講師は「Opto-GPCRomeの創成」という研究題目のもと研究に取り組めます。

本学では、卓越した研究の先鋭化や若手研究者の育成等を精力的に取り組んでいます。ぜひご期待ください。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13622.html 参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13621.html

TOPICS
8

総合技術部&日本PMI日本支部「第1回プロジェクトマネジメント基礎研修」を開催～技術職員と事務職員を高度化する観点からスキルを学ぶ～

本学総合技術部は「第1回プロジェクトマネジメント基礎研修」(PM基礎研修Day1)を開催しました。

同研修は、プロジェクトマネジメント(PM)の能力を育成し、その能力を自身が有する技術ノウハウと融合することで、「技術」から研究開発イノベーションをマネジメントできる技術職員の育成を進める目的で開催されました。

今回のPM基礎研修は、J-PEAKS事業の取組の一つであり技術職員の「高度化」を目的として実施。今後も自らの知識と知恵で新しい価値を創造していけるナレッジワーカーを育成します。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13585.html

TOPICS
9

若手研究者育成・異分野交流を目指す「ブレインストーミング2024」を開催

次世代研究者育成並びに異分野融合実践等を目的に、「ブレインストーミング2024」を1泊2日で行いました。

2日間を通じて、所属分野や職階、そして年齢といった垣根を越えて実りある討論・交流を深めることができました。その成果は、今後、異分野研究者間での先端機器の活用を通じた融合、企業の技術を応用した研究コラボレーションなどの共同研究に繋がり、研究力強化に資するものと確信します。

J-PEAKSの取り組みの中でも卓越研究の成果から地球規模の課題解決、次世代の研究者・技術者育成などを戦略的に実施しており、今回もそのひとつの取組です。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13601.html

TOPICS
10

高等先鋭研究院異分野基礎科学研究所の吉村浩司教授が「2024年度 戦略的創造研究推進事業(CREST)」に採択

高等先鋭研究院異分野基礎科学研究所の吉村浩司教授が代表を務める研究課題「原子核時計が切り拓く時空計測フロンティア」が国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「2024年度戦略的創造推進事業(CREST)」に採択されました。

J-PEAKS事業において、異分野基礎科学研究所を含んだ高等先鋭研究院を「群」と「層」として支援し、社会変革を成す研究・イノベーションの強化促進を行っています。今後も吉村教授らの研究活動等に、ぜひご期待ください。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13619.html

TOPICS
11

技術職員の見える化の強化推進として岡山大学「研究者総覧」を「研究者・技術者総覧」へ～わが国初の試みを実施～

教員情報サイトである岡山大学「研究者総覧」を教育研究系技術職員の組織である総合技術部を含めた「研究者・技術者総覧」に改修しました。全国初の取組です。

今回の改修は、「研究ファースト」の研究大学として、技術職員を技術者と位置付けるとともに、持ち得る技術ノウハウや技術研究の業績などが見える化することなどで、学内における教員(研究者)と技術職員(技術者)の相互理解の深化やコラボレーション強化促進の一助等とすることを目的としています。

学外の方々にも、研究シーズの探索や相談依頼の事前確認等にご活用いただけます。ぜひご活用ください。



岡山大学 総合技術部
DEPARTMENT OF COMPREHENSIVE TECHNICAL SOLUTIONS
OKAYAMA UNIVERSITY



研究者・
技術者総覧



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13737.html

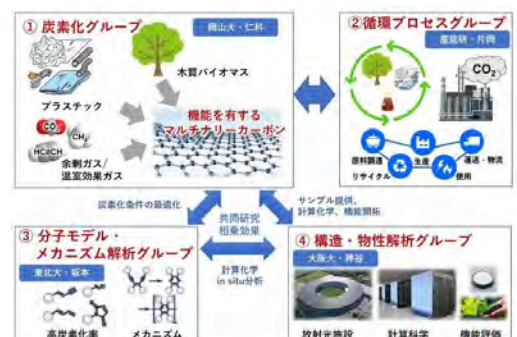
TOPICS
12

高等先鋭研究院異分野基礎科学研究所の仁科勇太教授が「2024年度 戦略的創造研究推進事業(CREST)」に採択

高等先鋭研究院異分野基礎科学研究所の仁科勇太教授が代表を務める研究課題「未利用有機物の“炭素化”資源循環のためのマルチナリーカーボンの創出」が、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「2024年度 戦略的創造研究推進事業(CREST)」に採択されました。

仁科教授は、未利用の有機物を活用し、様々な炭素化プロセスを通じて新素材「マルチナリーカーボン」を創出することを目的としています。

本学では卓越した研究果から新技術開発の実現を目指しており、仁科教授は中核となる若手研究者のひとりです。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13639.html



TOPICS
13

文部科学省職員教育行政・学校教育等実務研修生が来学～岡山大学とともに研究力強化施策を実践～

文部科学省職員教育行政・学校教育等実務研修生による本学での3週間の研修が行われました。研修期間中には、J-PEAKS採択大学としてどのような戦略や取り組みを推進していこうとしているのか等について、関係する会議や打ち合わせへの参加、学内公募の審査や中核となる研究拠点や研究設備の見学を通して、本学の取り組みの現場を体感しました。また、最終日に研修成果の発表会を開催。活発な意見交換が行われました。

この研修を通しての知見等を生かし、わが国の中核となる研究大学群の形成に向けて、今後とも、既成概念にとらわれない様々な改革を行っていきます。参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13771.html

TOPICS
14

岡山大学発ベンチャーABABA(株)が日本の人事部「HRアワード2024」人材採用・雇用部門最優秀賞を受賞

岡山大学発ベンチャー認定企業ABABA株式会社は、日本の人事部「HRアワード2024」(主催:「HRアワード」運営委員会、後援:厚生労働省)において、人材採用・雇用部門 最優秀賞を受賞しました。

不採用となった学生のデータをABABAのプラットフォームを通じて他の企業に共有し、企業と学生との新たなマッチングを図る革新的な仕組みが、学生と企業の双方のニーズを満たすとして、受賞に至りました。

今後とも本学は、地域社会や企業との連携を強化し、社会に貢献する優れたベンチャーの育成に取り組み、イノベーションを創出します。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13661.html

TOPICS
15

内閣府「令和6年度地域中核大学イノベーション創出環境強化事業」に採択 ～晴れの国における国立大学×県立大学の共振による地域イノベーションの創出～

本学と岡山県立大学は、内閣府「令和6年度地域中核大学イノベーション創出環境強化事業」に採択されました。

本事業は、地域の中核となる大学が、独自のミッションやビジョンに基づく強みや特色を最大限発揮し、地域のニーズに即した社会貢献活動を推進するとともに、それらの活動を通じた地域行政や産業界からの投資を誘発し、大学の財源多様化を進めることを目的としています。

J-PEAKS事業とも密に連携した事業計画であり、県立大学と一体性を持って、地域社会における変革と成長に寄与します。ぜひご期待ください！

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13671.html



TOPICS
16岡山大学発ベンチャー認定企業(株)ハイドロヴィーナス
が『HIROSHIMA GREEN OCEAN BUSINESS
BUILD 2024』に採択

岡山大学発ベンチャー認定企業である株式会社ハイドロヴィーナスは、環境・エネルギー分野の新規事業創出プログラム「HIROSHIMA GREEN OCEAN BUSINESS BUILD 2024」において、常石商事株式会社が募集したテーマ「瀬戸内海の潮流を活かした、環境にやさしい再生可能エネルギーの創出」に採択されました。

J-PEAKS事業やスタートアップ支援を通じて、地域や国際社会におけるイノベーション創出に尽力しています。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13674.html (画像提供: eiicon)

TOPICS
17

岡山大学産学連携パンフレットをリニューアル～岡山大学を貴社のイノベーションにご利用ください！～

今回リニューアルしたパンフレットでは、企業の皆さまに向けた支援内容を充実させさせるとともに、情報を分かりやすく具体的に記載しました。企業の皆さまが直面する技術的な課題に対する相談の受付や、大学の研究者との共同研究の進め方に加え、専門的な技術指導・コンサルティングサービス、最先端の機器共用、本学が事務局を務めるプラットフォーム等も案内。もちろん医療系の岡山大学病院の内容も含んでいます。

大学の敷居は決して高くありません。ぜひご活用ください！

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13733.html



イチオシの研究設備

CytoFlex

3代目のフローサイトメーターを導入

<歴代機器：FACScalibur---MACSQuant---CytoFlex>

フローサイトメーターは、細胞粒子個々の大きさ、形状及び内部構造等を定性的・定量的に解析する機器です。本機特徴は、血球などの表面抗原を測定する場合、規定値で測定でき、ダイナミックレンジが広く、蛍光補正も簡単に操作できる仕様です。また、解析で苦勞するSoftは、各研究者に配布可能ですので各自研究室で、検討する事が可能です。使い易く進化したフローサイトメーターを体感して頂ければ幸甚です。



設置場所は、本学鹿田キャンパスの医学部融合棟5階にある共同実験室(細胞機能解析室1)です。利用料金は30分:1,000円となっています。

J-PEAKSの取組として、大型分析装置等の中国・四国の機器共用ネットワーク拠点の構築や、先端設備の整備、技術人材の高度化等を通じて、イノベーション創出の「知」と「技」のメッカを目指しています。ぜひご活用ください。

参考 <https://www.okayama-u.ac.jp/user/crl/kiki2021/cell/cytoflex.html>

その他の装置や共同利用の設備に関するお問い合わせはこちら：cfp@okayama-u.ac.jp

